

# 系統側蓄電池による風力発電募集プロセス（I期残容量）の 募集概要について

2021年7月12日  
北海道電力ネットワーク株式会社

# 系統側蓄電池の活用による風力発電の連系拡大について

- 系統側蓄電池を設置し、設置した系統側蓄電池に係る費用を共同負担することを前提とした「系統側蓄電池による風力発電募集プロセス」を、2017年3月28日に開始しました。
- 本募集プロセスでは、系統への影響を確認しながら段階的に風力発電の導入を拡大していくため、Ⅰ期とⅡ期に分けて募集を行い、Ⅰ期募集については、技術的に確実性が見込める規模として募集容量を60万kWとし、16.2万kWの連系が決定しました。
- Ⅰ期募集の残容量43.8万kWについて、今回新たに募集いたします。
- Ⅱ期募集（40万kW）については、Ⅰ期募集による系統側蓄電池導入後、1年程度の実績を踏まえた評価、検証を行い、改めてお知らせします。

## 系統側蓄電池による風力発電募集プロセス

対策内容	募集量（導入量）	蓄電池容量目安
系統側蓄電池（Ⅰ期）	+60万kW	1.7万kW-3h <sup>※1</sup>
系統側蓄電池（Ⅰ期残容量）	（Ⅰ期：16.2万kW） （Ⅰ期残容量：43.8万kW）	7.8万kW-4h程度 <sup>※2</sup>
系統側蓄電池（Ⅱ期）	+40万kW <sup>※3</sup>	6万kW-4h程度 <sup>※3</sup>

※1 Ⅰ期募集で確定した導入量16.2万kWの蓄電池容量

※2 導入量43.8万kWとした場合の目安

※3 Ⅰ期導入後の実績を踏まえ、評価、検証を実施。

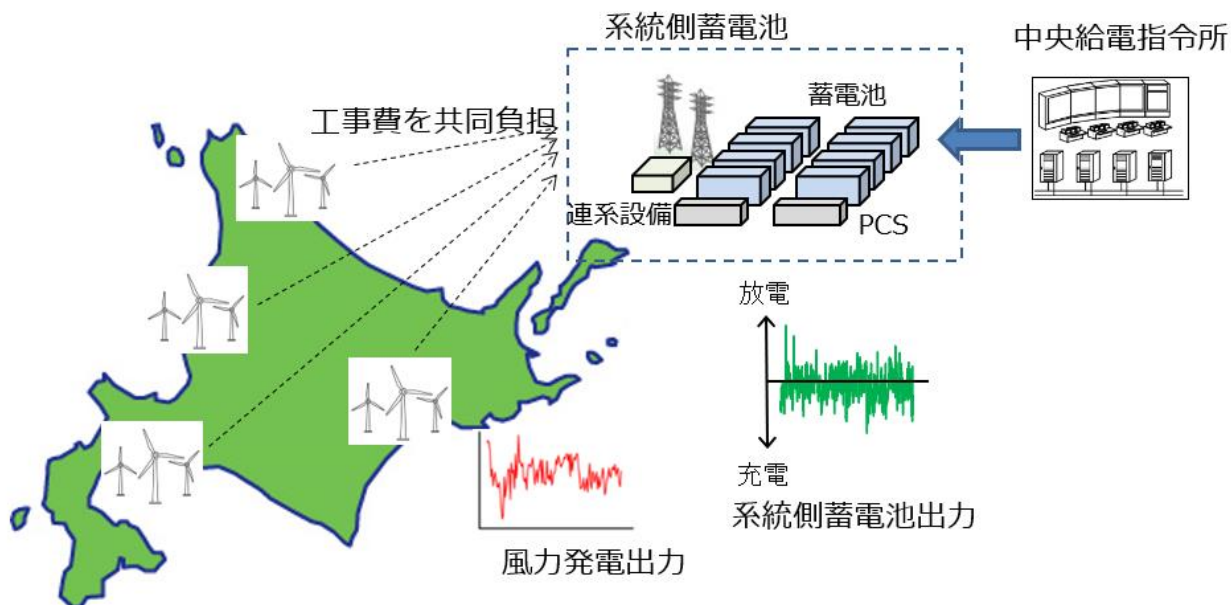
# 系統側蓄電池による風力発電募集プロセス（I期残容量）について

- 本募集概要に基づき、2021年7月12日から9月10日までの期間、系統側蓄電池による風力発電募集プロセス（I期残容量）に向けた接続検討申込みを受付けいたします。
- I期残容量に応募する案件は、全てこの接続検討をお申込みください。

蓄電池プロセス（I期残容量）に関する情報は当社ホームページよりご覧頂けます。

- ・ 当社HP：[https://www.hepco.co.jp/network/renewable\\_energy/efforts/wind\\_power/battery\\_recruit\\_1st\\_rem.html](https://www.hepco.co.jp/network/renewable_energy/efforts/wind_power/battery_recruit_1st_rem.html)
- ・ 接続検討申込書は上記ホームページよりダウンロードしてください。

- I期残容量に係る詳細は、2022年度上期目途で公表する募集要綱にてお知らせいたします。また、募集要綱については、事前に意見募集を行います。



# 系統側蓄電池による風力発電募集プロセス（I期残容量）の募集概要（1/3）

- 系統側蓄電池による風力発電募集プロセス（I期残容量）の概要は、以下のとおりです。

募集容量	43.8万kW（蓄電池容量目安 7.8万kW-4h程度）
容量の上限	1サイト最大43.8万kW
募集対象	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設置する系統側蓄電池に係る費用を共同負担することを前提とした連系を希望する案件</li><li>● 北海道内へ立地する出力変動緩和対策が必要となる発電設備<ul style="list-style-type: none"><li>・ 離島に設置するもの、および一般海域における洋上風力は除く</li><li>・ 港湾区域※<sup>1</sup>における洋上風力は含む</li></ul></li></ul>
選定方法	<ul style="list-style-type: none"><li>● 蓄電池の費用負担可能上限額余剰分単価※<sup>2</sup>に基づき優先順位を決定</li></ul>
運転期間	<ul style="list-style-type: none"><li>● 蓄電池運転開始から20年間を基準に設定</li></ul>
運転開始時期	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2030年度までに発電所の運転開始が可能な案件</li></ul>
主な応募条件	<ul style="list-style-type: none"><li>● 蓄電池本体、連系設備、設置工事、運転期間中の保守・運用・メンテナンスおよび充放電損失に係る費用を共同負担すること※<sup>3</sup></li><li>● 途中辞退や負担金入金遅延等による他事業者様への影響を最小限に抑制するため、一定の信用評価基準を満たす金融機関の債務保証書類を提出すること</li></ul>

※ 1 港湾法第2条第3項に規定する港湾区域

※ 2 負担可能上限額余剰分単価[円/kW]

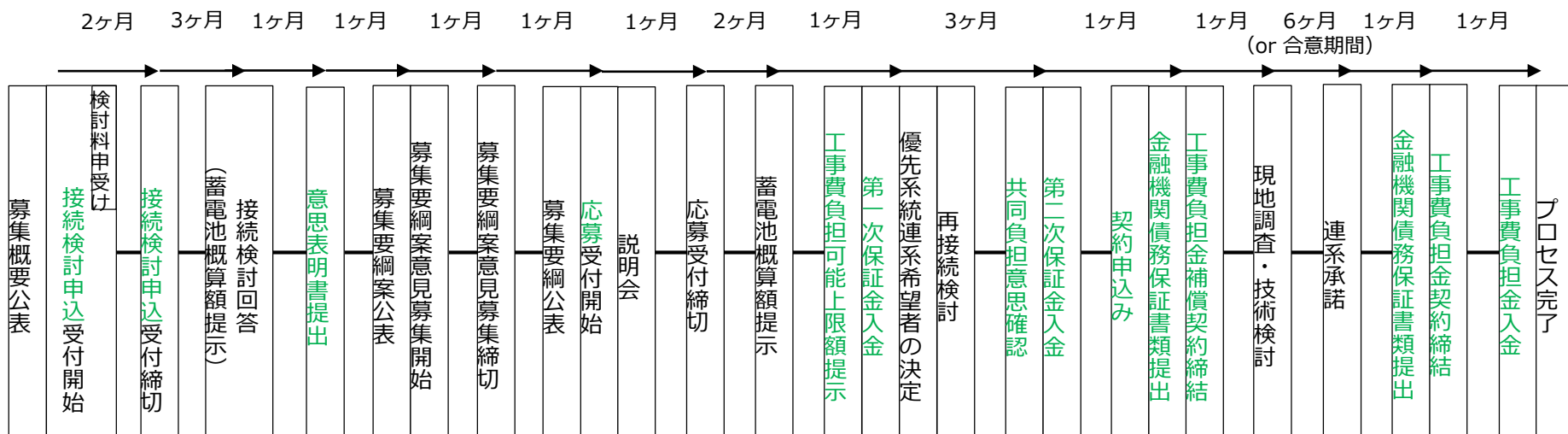
= (負担可能上限額[円] - 工事費負担金[円]) / 最大受電電力[kW]

※ 3 係る費用について、一般負担分は10%（2021年2月25日 第29回系統WG 資料3）

# 系統側蓄電池による風力発電募集プロセス（I期残容量）の募集概要（2/3）

- 募集概要公表からプロセス完了までのフローは下図のとおりです。（I期募集時を参考）
- プロセスへの応募案件の状況等により、所要期間が増減する場合があります。
- 蓄電池募集プロセスと一括検討プロセスの相互干渉による遅延が生じないように、接続検討にて容量制約がある場合は、出力抑制を前提とした接続も考慮いたします。
- 優先系統連系希望者決定後、必要に応じて、グループ化による蓄電池設置時期の分割や運転期間について検討いたします。効率的な設備形成とするため、分割する場合は2分割を上限といたします。

緑字：事業者様実施事項



# 系統側蓄電池による風力発電募集プロセス（I期残容量）の募集概要（3/3）

## I期残容量プロセスへの応募にあたっての留意点

<途中辞退や負担金入金遅延等による他事業者様への影響を軽減する募集方法について>

- 本募集プロセスは、系統側蓄電池の設置および蓄電池運転期間中の運用に係る費用を共同負担いただける事業者様を対象とした募集スキームとなります。
- 本募集プロセスでは途中辞退や工事費負担金入金遅延等による他事業者様への影響を軽減するため、第一次および第二次保証金の入金、一定の信用評価基準を満たす金融機関の債務保証書類提出および工事費負担金補償契約の締結が必要となります。
- 本募集プロセスでは、事業者様都合で途中辞退された場合、保証金は返還されません。また、工事費負担金補償契約締結後に辞退した場合は、補償金をお支払いいただきます。

<募集対象について>

- I期残容量は、北海道に立地する出力変動緩和対策が必要となる発電設備が対象となります。（離島に設置するもの、および一般海域における洋上風力は除きます。港湾区域における洋上風力は含みます。）
- I期実施時にII期へ移行の意思を表明された陸上風力および港湾区域の洋上風力は、II期対象外のため、プロセスに参加される場合はI期残容量へ応募していただくこととなります。
- II期の対象は洋上風力の準備区域となりますが、詳細は今後、資源エネルギー庁にて検討される予定です。

## 保証金・工事費負担金補償契約に関する補足

### <保証金について>

- 保証金は、プロセス途中の辞退による接続検討の繰り返しや、プロセス離脱の連鎖・不成立を防止することを目的としています。
- I期プロセスの保証金は、次のとおり、事業者様の責によらない事由による辞退の場合は返還の対象としています。
  - 再接続検討の回答における工事費負担金（入札額を除く。）が、接続検討の回答における提示額を超過することにより辞退した場合。
  - 再接続検討の回答における所要工期が、接続検討の回答における工期を超過することを理由に辞退した場合。
  - 天災地変、戦争、暴動、内乱その他不可抗力によってI期蓄電池プロセスを辞退せざるを得なくなった場合。

### <工事費負担金補償契約について>

- 工事費負担金補償契約は、接続契約申込みを行った事業者様が辞退する場合においても、当該事業者様が負担する予定であった共用設備の工事費負担金をお支払いいただくこと等を約しています。
- 当該契約により、一部の事業者様が辞退した場合においても共用設備の工事が実施可能となることで、他の事業者様の不利益発生を回避しております。